

弦と笙 —春告げの宵—

2026年3月28日(土)

17:00 受付

17:30 opening act 雲母

17:50 田中佐京

18:30 成川マサノリ

19:10 休憩

19:20 コラボ演奏

成川マサノリ

ギタリスト・旅する演奏家。

20歳でプロデビューをしてから、50年以上に渡り、音楽業界の幅広いミュージックシーンで活躍。

音による癒しと気づきを促すサウンドフルネスの旅を提供する。

成川マサノリの音楽の魅力は、

今見えている景色を一瞬にして変えてくれる魔法の力。

その音は、日常のすぐそばにあるパラレルな世界へ、聴く人をやさしく誘う。

心の奥にそっと触れるような時間が、静かにひらいていく。

その先で出会うのは、新しい景色と、深く感動している自分自身かもしれない。



田中佐京

平成5年生まれ、岡崎市出身。笙・箏演奏者。作曲家。

20歳から名古屋を拠点に作曲活動など、音楽活動を展開。

映像音楽からアート、ギャラリー、プロジェクションマッピングBGMなど
芸能とのコラボレーションも行っている。

また近年は即興演奏やジャズliveへの出演など、
古典芸能の雅楽だけでなく、新たな表現を全国で展開している。

新しい雅楽演奏の形「モダン雅楽」を主辛。

笙、箏の教室を岡崎、名古屋で活動。

また雅楽、音と日本の関係、歴史を語る。



雲母 (きらら)

愛知県西尾市にある八面山にまつわる縁で集った、
歌い手と舞い手からなる4人組。

日本古来の音霊と祝詞をもとに、
オリジナルの歌と舞を通して祈りの世界を表現している。

その表現の核にあるのは「天岩戸開き伝説」。

天之鉦女命・天児屋根命・布刀玉命・手力男命にちなみ、
祈りの歌と舞を奉納している。



会場：泉徳寺

愛知県西尾市吉良町津平犬入476

主催

問合せ先



チケット：3,000円(当日、現金払い)